

令和 5 年度 「信濃ひまわり幼稚園 自己点検評価・関係者評価」

1. 令和 5 年度の活動目標

【園の目標】

- ① 園の方針、約束事を守り、職員同士連携をとる。
- ② 預かり保育では、保育教材の充実をはかり、安全で楽しい時間とする。
- ③ 報告、伝達は正確に、事務処理は漏れのないようにおこなう。
- ④ 感染症対策に力を入れ、消毒・手洗いを徹底し、環境整備に心掛ける。
- ⑤ けが、事故を未然に防ぐため、ヒヤリ・ハット報告を徹底し、今後の対応を協議・実行する。

2. 自己点検

[評価の基準]

- A <十分達成できた> 優れた（水準・内容・環境・対応）である。 1.00～1.49
- B <概ね達成できた> 妥当な（水準・内容・環境・対応）である。 1.50～2.49
- C <あまり達成できなかった> やや不十分な（水準・内容・環境・対応）で改善を要す。 2.50～3.49
- D <ほとんど達成できなかった> 不十分な（水準・内容・環境・対応）であり一層の改善を要す。 3.50～4.00

(R06.03.31)

評価項目	自己点検評価の内容	自己評価	関係者評価
Ⅰ. 保育の計画性 自己評価 (B) 関係者評価 (B)	1 園の建学精神、教育理念、教育方針の理解	B	B
	2 幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園教育保育要領の理解	B	
	3 教育・保育課程の編成と評価	B	
	4 保育計画の作成	B	
	5 環境の構成	B	
	6 保育と計画の評価・反省	B	
Ⅱ. 保育の在り方、幼児への対応 自己評価 (A) 関係者評価 (A)	1 健康と安全への配慮	A	A
	2 幼児のみとりと理解	A	
	3 指導と関わり	A	
	4 保育者同士の協力連携	B	
Ⅲ. 保育者としての資質や能力・良識・適正 自己評価 (A) 関係者評価 (A)	1 専門家としての能力・良識・義務	A	A
	2 組織の一員としての在り方	A	
	3 まわりを感じ取れる感性・アンテナ	A	
Ⅳ. 保護者への対応・守秘義務 自己評価 (A) 関係者評価 (A)	1 情報の発信と受信	B	A
	2 協力と支援	B	
	3 守秘義務の遵守	A	
	4 対応上のマナー、良識	A	
	5 クレームへの対処の仕方	A	
V. 地域の自然や社会と	1 地域の自然、人々とのかかわり	B	B

のかかわり 自己評価 (B) 関係者評価 (B)	2 小学校との連携	B	
	3 地域の特性を生かした保育の展開	B	
Ⅵ. 保育者の専門性に関する研修と研究への意欲・態度 自己評価 (B) 関係者評価 (A)	1 研修・研究への意欲・態度	B	A
	2 保育者としての専門性に関する研修・研究	B	
	3 遊具、教材に関する専門性の向上	A	
	4 園内の環境に関する専門性の向上	B	
	5 今日的課題（障害児 ^{アスペ} ・危機管理他）に関する専門性の向上	B	
	6 自らを高めるための学習	B	
Ⅶ. 保育の在り方、3歳未満児への対応 自己評価 (A) 関係者評価 (A)	1 健康と安全への配慮	A	A
	2 乳幼児のみとりと理解	A	
	3 指導と援助	A	
	4 保育者同士の協力・連携	B	
Ⅷ. 地域における子育て支援 自己評価 (B) 関係者評価 (B)	1 自園の子育て支援事業の理解	B	B
	2 環境設定	B	
	3 支援の姿勢	B	
	4 育児相談	B	
	5 支援の評価・反省	B	
Ⅸ. 年間目標 自己評価 (B) 関係者評価 (B)	1 目標の設定と実行	B	B
総 合 自己評価 (B) 関係者評価 (A)	保護者の満足度は A(75.3%)、B (22.5%) を合わせると 97.8%との高い評価を得ている。全体的には、保育の質を向上させるための意欲が園全体にあると感じられるため、今後もその意欲を持続し欲しい。		

※134 項目の評価割合 A 評価 42.54% B 評価 55.22% C 評価 2.24% D 評価 0%

3. 保護者評価

[評価の基準]

A <よくできている、よかった、賛成>	1.00～1.49
B <どちらかというと出来ている、賛成>	1.50～2.49
C <どちらかというと出来ていない、よくなかった>	2.50～3.49
D <できていない、反対>	3.50～4.00

Q1 認定区分(回答者)	1 号	2 号標準	2 号短時間	3 号標準	3 号短時間
	32 人(36.4%)	30 人(34.1%)	13 人(14.8%)	9 人(10.2%)	4 人(4.5%)

(%)

Q2 園の教育方針	A 69.8	B 29.1	C 1.2	D 0.0
Q3 今年目標の設定内容・取組・成果について	A 65.5	B 32.1	C 2.4	D 0.0
Q4 園の「教育」の内容について	A 60.5	B 34.9	C 4.7	D 0.0
Q5 教職員のお子さまへの対応について	A 71.3	B 24.1	C 4.6	D 0.0

Q6 教職員の保護者さまへの対応について	A 65.9	B 31.8	C 2.3	D 0.0
Q7 園の施設・設備について	A 52.3	B 38.4	C 9.3	D 0.0
Q8 「お便り」「メール」など情報発信について	A 72.4	B 24.1	C 3.4	D 0.0
Q9 感染症への対応について	A 68.2	B 28.4	C 3.4	D 0.0
Q10 給食について	A 88.5	B 11.5	C 0.0	D 0.0
Q11 課外教室について	A 62.8	B 34.9	C 2.3	D 0.0
Q12 写真のネット販売について	A 60.7	B 29.2	C 7.9	D 2.2
Q16 本園を選んで良かったと思いますか	A 75.3	B 22.5	C 2.2	D 0.0

※Q13, Q14, Q15 について複数の選択肢のため省略してあります。

4. 関係者評価

実施日：令和6年3月14日（木） 10：00 から

I. 保育の計画性 B

保育の計画性に関しては「B」と言える。良い点としては、保育者間のコミュニケーションや異年齢交流が挙げられ、これらは非常に重要な。また、週案や月案を立てることで、子どもたちの状況に合わせた活動を考えている点も評価できる。

しかし、0歳児の保育計画の欠如や、子どもたちが主体的に関わりたくなる環境設定の不足、保育の共通理解についての時間と場の不足など、改善が必要な点も多く見受けられる。これらの課題は、子どもたちの安全と発達に直接的な影響を与える可能性があるため、特に注意が必要と考える。

個人的な課題としては、自分からのコミュニケーションの取り組みが挙げられる。先生方からのサポートは十分にあるものの、それを活用するための自発的な行動が求められる。

全体的に、保育の質をさらに向上させるためには、良い点を維持しつつ、改善点に対して具体的なアクションプランを立て、実行に移すことが重要。これにより、より良い「保育の計画性」を実現できる。

II. 保育の在り方、幼児への対応 A

保育の在り方や幼児への対応については、多くの良い取り組みが行われており、子どもたち一人ひとりへの配慮が感じられる。しかし、異年齢交流の促進や、より良い指導方法への改善など、さらなる工夫が必要な点もある。これらの改善点を踏まえ、全体的には「良い」と評価できる部分と「改善が必要」と感じる部分が混在しているが、「A」という評価といえる。

今後も、子どもたちの個性やペースを尊重しつつ、集団生活の中での社会性や協調性を育むバランスを取りながら、保育の質を高めていって欲しい。

III. 保育者としての資質や能力・良識・適正 A

保育者としての資質や能力については、積極的に学び、成長しようとする姿勢が見られる。また、保護者や上司とのコミュニケーションを大切に、子どもたちのために前向きに保育に取り組んでいる点は高く評価できる。一方で、整理整頓や専門知識の向上、意見の表

明など、さらに改善を図るべき領域も存在する。これらの点を改善することで、より高いレベルの保育者としての資質や能力が発揮されるのではないかと思う。

全体的には「A」と評価できる。自己改善の意欲が見られるため、今後も更なる向上が期待する。

IV. 保護者への対応・守秘義務 A

保護者対応においては、積極的にコミュニケーションを取り、守秘義務を遵守するなど、良い取り組みが見られる。しかし、直接対話の機会の不足やクレーム対応の不安、情報共有の方法については改善の余地がある。これらの改善点を解決することで、保護者対応の質をさらに高めて欲しい。

全体的には「A」と評価できる。コミュニケーションの質を向上させるための具体的な研修などを計画して欲しい。

V. 地域の自然や社会とのかかわり B

地域の自然や社会との関わりについては、積極的に交流を持とうとする姿勢が見られるが、新型コロナウイルス感染症の影響により多くの制限がある中での努力が求められる。特に、卒園児や小中学生との交流を増やすことで、地域とのより深い関係を築くことができると考える。

全体的には「B」と評価できる。今後は地域との関わりをさらに深めるための具体的な計画を立て、実行に移すことを望む。

VI. 保育者の専門性に関する研修と研究への意欲・態度 A

保育者としての専門性に関する研究や研修への意欲は高く、自己学習を通じて知識を深めようとする姿勢が見られる。しかし、研修への参加が減少していることや、環境構成の学習に対するニーズがあることから、専門性をさらに高めるための支援が必要。時間の調整や研修への積極的な参加を促すことで、保育者としての資質をより向上させて欲しい。

全体的には「A」と評価できるが、今後は研修への参加を増やし、専門性をさらに高めるための具体的な計画を立てることを望む。

VII. 保育の在り方、3歳未満児への対応 A

3歳未満児への対応については、子どもたちのニーズに応えるための努力が見られるが、職員数や食事管理などの運営面での課題がある。これらの課題に対して具体的な改善策を立て、実行に移すことで、より質の高い保育を提供をして欲しい。

全体的には「A」と評価できるが、特に職員数の確保や食事管理の改善により、子どもたち一人ひとりにじっくりと寄り添うことができる環境を整えて欲しい。

VIII. 地域における子育て支援 B

地域の子育て支援に対する取り組みは、積極的な姿勢が見られるものの、感情移入の度合いや遊び場の安全性など、改善が必要な領域がある。これらの改善点を解決することで、

地域における子育て支援の質をさらに高めることができる。

全体的には「B」と評価できるが、特に遊び場の安全性の確保や、地域の子育て支援にもっと直接関わることで、より良い支援が提供できるようお願いしたい。

IX. 年間目標 B

年度目標に関しては、子どもたちのニーズに合わせた保育を行い、目標に向かって進んでいると評価できる。子どもたちの自主性を引き出すための声掛けや、保育におけるゆとりの確保など、さらなる改善が求められる。来年度に向けて、これらの点を意識し、一つひとつの活動を丁寧に行うことで、より質の高い保育を目指して欲しい。

全体的には「B」と評価できるが、特に子どもたちの自主性を促すための具体的な方法を考え、実践に移すことを望む。

【総合判断】 A

保護者の満足度はA(75.3%)、B(22.5%)を合わせると97.8%との高い評価を得ている。総合的に評価すると、信濃ひまわり幼稚園は「A」と評価できる。子どもや保護者のニーズに応じた保育活動の計画や実施、保育者としての自己学習や成長への意欲、地域との関わりや子育て支援への貢献など、多くのポジティブな取り組みが見られた。

一方で、職員数の確保や食事管理、保育のゆとりの確保、子どもたちの自主性を促す声掛けなど、改善が必要と感じられる領域もある。これらの課題に対して具体的な改善策を立て、実行に移すことで、さらに質の高い保育を提供して欲しい。